

練馬図書館 図書館利用者懇談会

- 1 日時 令和3年11月4日(木) 14時～15時
- 2 場所 練馬図書館 会議室
- 3 出席者 利用者 3名
図書館 4名
(練馬図書館長、副館長、主任図書館専門員2名)
(ほか、生涯学習センター副所長)
- 4 テーマ 「コロナ禍における図書館サービス」
- 5 配布資料 (1) 練馬図書館における新型コロナウイルス感染症対策の現状
(2) 新型コロナウイルス感染症対策の経過
- 6 次第 (1) 練馬図書館長挨拶
(2) 図書館職員紹介
(3) 参加者自己紹介
(4) 懇談・意見交換

練馬図書館利用者懇談会 会議録

1 練馬図書館長挨拶

今日は、図書館の利用者懇談会にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

1時間、短い時間ですけれども、皆様とお話できればと思いますので、よろしくお願
いします。

2 図書館職員紹介

練馬図書館副館長、主任図書館専門員2名

3 参加者自己紹介

4 懇談

利用者 私は、60歳の時に耳の病気で聞こえなくなってしまったのです。声の大きさが
あいが分からなくて、図書館に来ると、声が大き過ぎるみたいです。申し訳あ
りません。私はずっと52年間、練馬にいます。前の26年間は中村南にいました
ので、貫井図書館を使っていました。23年前から、近くに越してきました、練
馬図書館を使わせていただいています。働いている時は、それほどたくさん本
を読んだわけではないですけれども、コロナになって、自粛になり、歳を取っ
た主人と私と2人だけの生活で、何にもすることがなくて本ばかり読んでいま
した。だから、こちらの図書館には、本当にお世話になっています。置いてい
ない本でも取り寄せてくださいますし、15、6年前から人形作りを始めまして、

どこかで習ったのではなくて、図書館の本で始めました。15年程前は人形作りの本が、ここの図書館にあったのですが、10年くらい前から人形作りの本がなくなったのですが、お願いすると、あった時と同じ本を借りてくださいます。それで、人形作りの本を頼りに、人形を作るようになったのです。こちらの人形の本のおかげです。練馬図書館では本当にお世話になって、たくさん借りていますし、何度も取り寄せてくださいますので、本当にありがとうございます。

利用者 光が丘の方の児童館で文庫をやっています。今日は、練馬の文庫連絡会から来ました。本はどちらかというと光が丘や春日町、平和台などの地域に住んでいますので、普段はあちらで借りているのですが、夜に連絡会を開催する時に、練馬図書館の会議室を時々利用しています。よろしくお願いします。

利用者 子どもの本を専門に、本を読み合う会の練馬の会で活動しています。練馬図書館に、とてもお世話になっている会のメンバーです。この会議室でいつも図書館からお借りする本を、メンバーと読み合って、この本はいいねとか、この本はどうかというような話し合いの会を開いています。よろしくお願いいたします。

図書館 皆さんに資料をお配りしました。懇談のテーマは「コロナ禍における図書館サービス」となっています。このテーマは、今年の図書館の利用者懇談会の全館の統一テーマです。今回は、全館で同じテーマで懇談会を実施するということになりました。コロナ禍にこういったサービスをやった方がいいとか、こんなことが考えられるとか、そんなことを今日は皆さんからご意見をいただければと思っています。

利用者 緊急事態宣言の間も、予約をすれば貸していただけたのです。そして返しに来るだけ。また予約をすれば、それは用意していただける。自分で探して、選ぶことはできませんでしたが、予約をすれば借りられます。それがすごくよかったです。何しろ本を読むことしかなかったですから。本だけは読めました。

今、私が読んでよかったと思う本を教えて、よかったと思う本を私の後に次いで、練馬図書館で借りて読み続けている人がいるのです。私も責任がありますので、本当によかったと思う本しか薦められませんので、よかった本に出会うと、本当に、これをまた薦められると思ってほっとします。いい本にいっぱい出会いました。

週刊朝日を取っているのですが、週刊朝日に年間ベストテンが載ったのです。そして、ベスト1とベスト2をこちらで予約したら、その順番が273番だったかな。それで、予約を取り消して、自分で買って読んだのです。でも、後になって聞いたら、何冊も所蔵されたのですって。7、8冊とか。ですから、順番が早く回ってきたのですと。残念でした。

図書館 では、資料の説明をもう少し続けさせてください。次第の次には、コロナ対策の現状ということで、現在、この練馬図書館で行っている対策を書いたものがあります。それが資料1です。資料2の方が、令和3年になってから今まで、コロナでいろいろな波、また緊急事態宣言がありましたけれども、この流れを

一覧にしてみました。あまり時間もありませんので、今の私どものコロナの対策について、お話をさせていただければと思います。

先に、今年の流れ、1月以降の流れを基に、少しお話させてください。今年1月、お正月早々に、感染者が急に増えて、また緊急事態宣言が発出されました。それが1月8日でした。緊急事態宣言が出されたのは、去年4月から、また2回目ですけれども、先ほどお話があったとおり、去年4月の最初の緊急事態宣言の時には、図書館は完全に閉めてしまったので、全く本を貸すことはできなくなりました。でも、今年1月の緊急事態宣言の時には、図書館は閉めませんでしたので、本をお貸しするという状況が続きました。

ただ、緊急事態宣言でしたので、会議室の定員を半分にするとか、あるいは、イベントを半分の人数でやるとか、そういった対策を行ってきたところです。3月になって、大分、感染者数が減って、緊急事態宣言は解除されましたけれども、その後また増えてきて、4月にはまた緊急事態宣言が発令されました。それが、4月25日です。この緊急事態宣言の時には、都知事の発言では、かなり厳しく期間を限定して対策を行なうと言っていたので、いろいろな施設が、休館、閉鎖になるというような見込みでした。それで、練馬区の図書館も、4月25日から、また休館にするということになりました。ただし、1年前の緊急事態宣言とは違って、本を貸すことは続けようということになったので、予約された本を窓口で貸すということは、ずっと続けました。4月25日の最初の日、私どもの図書館では、中には入れなかったので、入り口のところに机を置いて、入り口のところで皆さんからカードを預かって、皆さんの予約された本を奥の棚まで取りに行き、それをまた入り口のお待ちになっているお客様、利用者のところまで届けるというやり方をしました。ただ、その後、それではやり切れなくなったので、フロアに線を引いて、中のカウンターまで来てもらうようにやり方を変えたところです。

今年の緊急事態宣言の間は、貸し出しは、ずっと一度も絶えることなく続けています。そして、6月には一度収まったので、席を戻したりしたところなのですけれども、また7月になってもう一度緊急事態宣言が発出され、その際にまた人数を半分にということでしたので、椅子を減らしたり、館内の滞在時間を1時間までにしてくださいとか、そういった対策をしたところです。

おかげさまで、9月30日で緊急事態宣言は解除になりましたので、今はほぼいつものように本を皆さんに選んでいただいて、お貸しすることができるようになっています。

今の対策が資料1枚目です。

現在閲覧席は、新聞を読む席とか、テーブルのある大きな閲覧席は、通常の状態に戻しています。戻していないのは、一番南側の窓側にある席。ここは円弧状になっているのですけれども、もともと24席ありましたが、今は半分にして、12席で運用しています。それと3人掛けのソファ。個別に分けても使えるのですけれども、3席並べて座ってもらっている新聞閲覧席のソファは、真ん中を使えないようにしています。全体で言えば約7割の席を戻して、今は利用

できるようになっています。緊急事態宣言の時には、検索機やインターネット用のパソコンとか、そういった機械類は、半分の座席しか使えないという期間が長かったのですけれども、今はそれも通常に戻しています。

そして、去年と違って、今年変わった対策が一つ。消毒液の自動噴霧機を入りに設置しました。4月の終わり頃です。この自動噴霧機は、温度計がついていますから、入館時に額や手で温度を測ることができます。ただ、体温計とは言えないので、あくまで表面の温度を測る機械で参考として使ってもらっています。自動噴霧機ですから、手を入れればアルコールが勝手に出てきます。中に1リットルぐらい入るのですけれども、平日は大体半分くらい、土日は1日でちょうど1リットル全部使うくらい、この自動噴霧機で使われています。それ以外にも、中に入ったところに手押し式のポンプもありますので、自動噴霧機が届かない子どもとか、いろいろな人に、それも使ってもらっています。

そして、次に除菌機です。除菌機は、9月の終わり頃に設置したので、まだ1か月少ししか経っていません。除菌機は、大きな冷蔵庫のような形で、中に紫外線を出す蛍光灯が全部で10本入っています。その紫外線は、ウイルスにも効果があると言われていています。ただ、どれだけ効果があるかは、まだ研究結果がないので、その機械としては有効ですとは言えないのですけれども、その蛍光の紫外線のランプは、有効と言われていています。9月末に設置して、1か月ちょっと経ちましたけれども、まだあまり知られていないせいか、1日10回ぐらいしか使われていない状況です。

今の2つが、今年に入って新しく機械類として対策を強化したところです。

それ以外に、ブックポストは、昨年に休館した時から、開館時間でもずっと使えるようにしています。この対策は、今も続けています。ですから、本を返すだけの人は、中に入らなくても、ポストで本を返して、そのまま帰ることができます。

そして、次に事業です。いろいろなイベントをやっていますけれども、対面ではできないこともありますので、新しい対策も始めています。

ブックスタートは、この間、緊急事態宣言の期間も休むことなく、ほぼやっていました。4月から5月にかけての緊急事態宣言で休館になった時は、しばらくできなかったのですけれども、それ以外の時には、ボランティアの方に続けてやっていただいています。去年から一対一の対応に変え、密にならないよう実施してもらっていますので、感染リスクはそんなに高くないだろうということもあって、続けてもらっているところです。

「よみきかせ」や「おはなし会」は、お休みの期間が長かったのですけれども、10月に緊急事態宣言が解除になりましたので、また以前のように、日曜日に読み聞かせを開催したりしています。コロナ以前は、読み聞かせは、お話コーナーを使っていたけれども、今はこの会議室でやるようにしています。お話コーナーより、ここの方が広いですから、広いところで、できるだけ距離を取って座ってもらうようにやっています。

また、健康推進課との事業で、がんの啓発の講演会が9月にありました。この

講演会は、Z o o mで開催する講演会だったのですけれども、Z o o mの視聴環境がない方にも聞いていただきたい、見ていただきたいということで、この部屋でスクリーンを置いて見てもらうという形で開催しました。その時に参加された方は、もちろん検温をして、健康に問題がないということで入っていただいているのですが、少し咳込んだ人がいたということもあって、後から、あの時、換気はきちんとできていたのですかということも質問される方がいました。今日も同じですが、その時も、風が通るように窓を開けて、扇風機を回して対策はしているところです。

以前は、こういう何か事業を行う時には、開架に声が漏れないように扉を閉めて、窓も閉めてやっていたのですが、今は換気の方が大切だということがありますから、外も内も開いて、換気を十分にするように対策しています。

そして、来週の土曜日ですが、読書週間行事で、絵本作家 川端誠さんの講演会を予定しています。講演会そのものは、ここの2階の生涯学習センターの部屋を借りてやるのですが、Z o o mでも配信して、おうちでも見ていただけるようにしています。私たちの現在の対策は、このようになっています。

利用者 質問があります。どんな本を選んでいいかわからない。新聞とか、週刊誌とか、文芸春秋などで書評を見て選んだ本はいいのですが、そのほかのような本がおもしろいかというのが。もし、本を読んで、おもしろかったと思われる図書館の職員の方がいらしたら紹介してほしいです。私は年中図書館に来ていますので、どんなに分厚くても大丈夫です。本当におもしろかったという本があったら、紹介してほしい。そして、読書の友達が欲しいと思うのです。「この本はおもしろかったわよ。読んでみたら。」と一言くださる方がいたらいいなと思うのですが。

また、今一番心配なのは、私は足場もフラフラなので、ここまで来るのが大変なのです。借りに来られなくなる日が心配です。返すのは、まだ主人の足がしっかりしているので、練馬区の本は、ポストに入れに来られますから、入れてもらっていますけれども、私がほかの図書館から借りてもらう本が多いものですから、それを自分で返しに来なくてはならないのです。だから、これから1年、2年後、本が借りられなくなったらどうしようかと思えます。

図書館 まず、お勧めの本は、いつでも相談カウンターで相談をしてください。司書が、お勧めの本のお話をしますから、また来た時に相談してください。

利用者 そうですか。何かおもしろい本はありますかと。

図書館 そういう聞き方をしてもらっても大丈夫です。

利用者 読書会があるということを聞きました。どこの場所にあるのですか。

利用者 読書サークルというのが、今は結構少なくなっているのです。私たちは、子どもの本を中心に活動しているのです。

利用者 私は自分が保育園の職員だったものですから、子どもたちによく本を読んだりしていたので、私も子どもに本を読んであげられる会に入りたいと思ったのですが、何か月か研修を受けなければ駄目だそうで。

図書館 図書館で読み聞かせを行ったりする場合は、図書館の講習を受けるのが決まりになっているのです。文庫は、自主的な活動なので、講習を受けるという条件はないのです。

利用者 練馬区のいろいろなところで文庫はあるのですけれども、自宅でやっていたり、私は児童館でやっているのですけれども。

図書館 今あまり、文庫は練馬図書館の近くにはないのですけれども。

もう一つ、歩けなくなったらどうしようという話をされていたと思います。もし、歩けなくなられたら、図書館から郵便で資料を自宅に送るサービスを光が丘図書館がやっています。歩けなくなったら、ご相談ください。

利用者 歩けなくなっても、本が読めればいいです。ありがとうございます。

図書館 どうぞ安心してください。これからも本を読んでください。

利用者 利用案内のパンフレットに、郵送貸し出しサービスというのが載っていますね。それで、私を感じたのは、今おっしゃった情報が必要な方に届いていないということです。これからは私たちにも、もちろん情報はいただきたいのですけれども、届きにくい方たちに、いかに届けられるかということ、図書館に工夫をしていただかないと情報弱者を生んでしまうと思いました。よろしくお願いします。

図書館 これからどういう対策をしたらいいか、私たちも考えて実行したいと思います。

利用者 そうですね。本当に緊急事態宣言とか、まん延防止措置とか、いろいろとあって、それに図書館がどう対応したとか、いろいろ忘れてしまうので、資料で表になっていてよかったなと思ったのですけれども、私は、会議室が結構貸出されていたので、もちろん人数は50%制限などがありました。活動を中断しなくて済んだので助かりました。会議室が使えなくなると、私たちの活動も、もちろんZoomを使うとか、いろいろと今はありますけれども、集まって相談ということとか、詰めていくうえで会議室を使わせていただけたというのは、すごく良かったです。

あと、除菌機ですが、あれは最初、何館か導入された時、ウイルスにはあまり効かないというふうに聞いていたのですけれども、全館で配置になったので、どうなのかなと。最初に効かないと聞いていたので、それが引かかかっていて、全館に入れたのは疑問というか。練馬だけではなくて、ほかの図書館でも、あまり周知されていないのか、あまり使っている人を見てなくて。

それから、おはなし会を10月まで、あまり開催されていなかったという話なのですけれども、他の図書館のおはなし会に関わったりしていると、本当に各館でばらばらな対応というか、予約をして開催しているところもありましたが、練馬が10月までは開催しなかった理由を伺いたいのと、10月は結構、緊急事態宣言下でも、他の図書館のおはなし会に参加する方は多かったのですけれども、解禁してからの参加者数は、前と比べて多かったのかどうか。親子連れのお母さんが、どこも行くところがなくて、結構図書館のおはなし会に参加したりして、今まであまり来なかった人とかも来たりすることがあるので。

それからもう一つ、触った本の扱いについてですが、書架で一度手にした本は全部、光が丘図書館などはかごに入れるとか、平和台だったら机の上に置い

ておくとかで、ただ少し見たいと思って本を触ってしまうと、そうなってしまうので、結局、触るのにも躊躇します。練馬図書館はどうされているのかというのを伺いたいと思います。

図書館 今のご質問の最初、除菌機の件は、先ほども少し説明しましたがけれども、蛍光灯の紫外線そのものには、ウイルスに効果があるという、そういう証明はあるそうなのですが、除菌機全体として、コロナウイルスに効くという証明が今現在はない。だから、コロナに効くとは言えないのですが、紫外線には、確かに効果があるということまでは分かっているということです。除菌機を設置してほしいという要望が、いろいろな方からあったので、置いていない館にも置きましょうということで、設置されました。

利用者 利用者の方から。

図書館 そうです。当時6館にあったはずですがけれども、12館のうちの6館にあり、ほかの館にも置いてほしいという要望がありました。まだまだ、おっしゃるとおりに知られていないということもあるので、利用はそんなに多くありませんが、少しでもそういうものがあつた方がいいという方もいらっしゃいますので、使っているところです。

続いてイベントについてですが、私たちの練馬図書館では、どうしても部屋がここの会議室くらいしかなくて、今は換気を取ってやっていますけれども、どうしてもリスクがある程度残ってしまうということがあって、私たちは、あまり多くの開催をしてきませんでした。本当におっしゃるとおり、参加したいという方はいらっしゃって、開催すれば必ず参加される方がいらっしゃるの、それは来られる方にとって、どうしてもリスクになってしまうだろうということがあり、私たちは、どちらかという慎重に開催を進めてきたところです。10月から、また始めていますけれども、前と違って、当日受付はできておらず、どうしても事前に人数を絞って受け付けているため、参加人数も以前よりは少なく設定しています。

利用者 上限を設けているのですか。

図書館 そうです。事前受付にしていますので。再開してちょうど1カ月くらいですがけれども、そんなにすぐにいっぱいになるという感じでもありません。看板は一応出しますので、そうすると、当日にその看板を見て、自分も参加したいとなり、定員になってしまうという、そういう状況です。

利用者 一応予約制で、上限を設けて、当日も受け付け可になっているということです。

図書館 当日に空いていると言うと、もう即、割と定員いっぱいになり、それから先はお断りするということが続いています。

また、書架にある本を取った場合の対策ですが、コロナの最初の頃は、取った本をそのまま何日か置かなければいけないとか、いろいろと対策を考えなければということでやっていました。練馬図書館では、手に取って借りない本は、カウンターにお返しくださいということを貼り出していました。でも、あまりそれをやっていただける方はいらっしゃらなくて、どうしても、どこに触られるか分からないので、私たちは、図書館を出る時、また入る時に、消毒をして

くださいという方を重点的にお勧めしようということで、これまでもやってきましたし、今もお願いしているところです。

利用者 では、もう今は、カウンターに返すというのはなくなったのですか。

図書館 今は、その貼り紙もしていません。

利用者 出入り口の消毒、その対策でいいと思うのですがけれども、結構、ちょっと書架の本を見たいという時に躊躇するのです。触るとしばらく書架に戻らなくなるわけなので、ちょっとどんな本なのか中身を見たい時に、すごく助かります。ありがとうございます。

図書館 この1年間で、本当に大きな感染の波が何度もやってきて、練馬区の図書館でも、職員が単発的に罹患したことがありました。けれども、そこから感染が広がったということはありませんでした。私たちは去年より、職員の中でも、皆さんが使うところではない事務室とか、閉架とか、私たちだけが使う場所でも、職員同士で感染しないようにという対策を以前より厳しくやっているところです。では、もうあと10分しかなくなってしまいました。

利用者 では、伺いたいことがあって、図書館のことではないかもしれないのですが、文化センターが改修工事になるのですよね。

図書館 はい、そうです。

利用者 そうしたら、この図書館の改修工事と重なってしまう。どちらを優先するかみたいな話があったようなことを聞いたのですが、それはどうなのですかということ伺いたい。

図書館 では改修工事のことについても説明します。改修工事は、ここの建物が30年以上経っていますから、以前の計画では、今年、令和3年から工事を始めようとしていました。設計まで進んでいたところです。ところが、去年コロナで、急にお金がコロナ対策で必要になってしまい、また、区に入ってくる方のお金も減ってしまったので、区全体として、どの建物を工事するか見直しが進みました。その中で、この建物、生涯学習センターと練馬図書館のこの建物は、工事が延期になったところです。延期が決まっただけなので、いつ工事になるかは分かりません。

利用者 まだ、今の段階でも分からないのですか。

図書館 まだ、分かりません。けれども、文化センターが来年から工事をするという事は、もう発表されていることで、ほぼ決まっていることのようなので、まだこれから、ある程度、こういうふうに進めていきますという計画が示されることになると思うのですがけれども、少なくとも、文化センターが工事をしている最中に、ここの工事をするとすると、ホールがどちらの施設にもあるので、どちらのホールも使えなくなってしまうので、時期はずれると思っています。文化センターが工事を行っている間は、少なくとも、ここの工事はしないだろうと思っていますが、まだ何も決められていません。

利用者 そうですか。分かりました。

図書館 去年の懇談会の際には、いつになるか分かりませんとお話ししましたが、現時点でもまだいつになるか分かりません。

利用者 そうなのですね。

利用者 文化センターの工事が、2年近くかかるのではないかと聞いたのです。

図書館 ここの工事も、もし工事をやるとなったら1年以上はかかるかもしれません。

利用者 生涯学習センターと一緒にだからね。そうか、雨漏りは何とかなっていますか。

図書館 雨漏りはいろいろと対策をして、とりあえずこの会議室は、去年の後半からは、ほぼ大丈夫になりました。去年は本当に、会議室はたくさん上から漏れてしまったので、天井がかびてしまったのです。本当に見た目はよくないのですけれども、貼り替えをしたところ。その後、屋上の防水の工事を少ししてもらったので、全面ではないですけれども、部分的にしてもらったので、こちら側の雨漏りは、ほぼ収まっています。でも、雨漏りをしている場所はここだけではなくて、何か所か。地下の車庫の方とかがあります。

利用者 事務室は。

図書館 事務室は大丈夫なのですけれども、皆さんが使うところでも、一番奥の書棚とか、コピー機の近くとか、何か所か会議室と同じようなタンクが置いてあるところがあります。

利用者 図書館の雨漏りは致命傷ですよ。

図書館 本当にそうなのです。雨漏りもそうですし、練馬図書館の地下は湧水が多くて、夏の期間は特に湿度がすごく高いのです。だから、かなり除湿をしないと、結構、本にしわが寄ってしまうということがあります。まだ冬の期間は、空気が乾燥しているので、割といいのですけれども、夏は本当にすごく対策が必要です。その対策も今度の大規模改修でお願いしているのですけれども、それがいつになるか。

利用者 そうですね。それは結構、切実。利用者からは、なかなか見えない部分です。

図書館 私たちは、本、資料を大切に、できるだけいい状態で皆さんにお届けできるように、いろいろと対策は、できることはなかなか限られていますけれども、考えながらやらせていただいています。

利用者 本日、町内会の方が来ていらっしゃるけれども。

図書館 コロナになってから、今は町内会とのやりとりがあまりできていない状況です。

利用者 本日、読書会の方などがいらっしゃるかと思って期待して来たのです。本を通しての仲間と出会えるかと思って。

図書館 区の図書館によっては、大人の読書会を開催しているところもあります。大泉と南田中もやっていると思います。

利用者 多少だったら頑張って歩いていきますけれども。どこかで読書会があるかと思って。本の話をしたいのです。誰かと。一人で、ただ読んでいるだけでは、つまらなくもないですけれども、本がおもしろいからです。

利用者 確かに、これだけ本を読んでいらっしゃる方だから、いろいろなお話しをしたいですし、おもしろい本をいろいろと薦め合えるといいですよ。

図書館 今日は何もお出しできる情報がありませんけれども、いつも来館されていますから、またいらっしゃる時に、何かお知らせできることがあれば、私たちか

からお知らせします。

利用者 練馬図書館は本がいっぱいあって、読みたい本を必ず取ってくださるから。読みたかった本が手に入らなかったということは、ごくまれだと思います。本当に親切で、本当に職員の方たちは、ご丁寧ですよね。本当に感謝しています。

図書館 本が届いた時に、いつも喜んでくださるので、私たちも嬉しいです。

利用者 読みたい本があるのだったら貸してください、なかったら予約してくださいというふうに、いつも。ですから、希望の本はほとんど読めます。

利用者 すばらしい。

図書館 ありがとうございます。私たちも励みになります。本当にありがとうございます。では、時間になりましたので、今日の懇談会は、これで終わりにさせていただきます。

利用者 また何かいい本があったら、どうぞお願いします。読書サークルも情報があったら、本当によろしくお願いします。

図書館 今度調べて、お答えします。

利用者 ありがとうございます。これから先、私の足が歩ける限りここに通ってきます。

図書館 お元気でずっと来てください。ありがとうございました。